

5月

痛みのない、歩きやすい 膝（ひざ）を目指して

第二整形外科部長 **みね はやと**
峯 隼人



膝は、肩・腰と並んで年齢とともに最も痛みが出やすい部位の1つです。大きなケガをしたことがない健康な方でも、加齢とともに膝半月板（ひざはんげつばん）のすり切れや軟骨のすり減りが起こるため、中高年以降で膝の痛みが出るが多くなります（変形性膝関節症）。

変形性膝関節症が進行すると、軟骨はどんどんすり減ってしまい、そのうえ、下肢全体の変形（多くはO脚変形）も進行します。O脚が悪化すると、見た目の変化や歩き方の変化にとどまらず、膝の痛みも増悪するため、立つ、座る、歩くといった普通の生活への支障が大きくなるのです。

軽症の場合は、まずは保存的治療（運動療法、リハビリ、装具療法、関節内注射など）を行います。保存的治療で改善しない場合は、手術治療（関節鏡手術や骨切り術）を行うことができます。

一方で、重度の変形があり、歩行に支障をきたしている場合は、人工膝関節置換術（じんこうひざかんせつつかんじゅつ）の適応となります。これは、人工の膝関節を入れて下肢をまっすぐに戻し、歩行時の痛みを和らげて歩きやすくするための手術です。日本では現在、年間約10万件の人工膝関節の手術が行われていますが、高齢者人口の増加に伴い、手術は今後ますます増えると予想されています。

ひと昔前の人工関節は長期耐久性に不安がありましたが、コンピュータ支援手術などの医療技術の進歩と人工関節自体の改良によって、以前よりも正確で安全な手術と、安定した長期成績を患者さんに提供できるようになっています。特に当科では、術後の痛みの軽減に力を入れており、各種鎮痛療法（ちんつうりょうほう）を効果的に取り入れることで、患者さんの苦痛をできるだけ少なくし、早期リハビリ、早期回復を目指しています。

膝の痛みの治療は、患者さん個々によって千差万別です。患者さんの状態やご希望にあわせて、最適な治療を目指しています。膝の痛みでお困りの方は、いつでもご相談ください。

富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」で放送中の行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2025年5月1日～5月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) じん肺の症状と対処療法について」

(出演者) アスベスト疾患センター センター長 水橋 啓一



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>